

Hello!!

里子の手紙をよもう会 L-call



私たち、なにわエリアは2013年、インド南部の農村に井戸を贈りました。そして、今年と同じインドの子ども達への教育支援を活動目標に掲げています。おおさかおもしろツアーや、御堂筋ふれあいバザーなどの機会が集まった寄付金でまず2名のインドの里親になることができました。

インド南部タミルナード州の現地から送られてきた里子のプロフィール、写真は幼いながらに凜として、まばゆいばかり！12

億の人口を抱える巨大国家の、最貧困層に押しやられ、勉強したいと願う向学心さえ思うに任せない子ども達にとっては、僅か年間2万円の学業支援であっても、どれだけの喜びにつながることでしょう。

彼ら、彼女らの人生に光がさした！
遠い異国の日本から！！
そんな想いではないでしょうか。

一人一人の負担は、月僅かにコーヒー一杯のお金。どこを見ても、暴力と人間不信の渦巻く現在の世界の中で、その一杯が、確かな手応えのある絆となっていってくれる。としたら？ 私たちにとっても本当にうれしいことです。小学生の子ども達から届く英語の手紙。彼らの日常を知りたい。素顔の声を聞きたい。私たち遠い国からの熱い応援エールを伝えたい！

私たちは、そんな想いから、〈里子の手紙をよもう会 L-call〉を立ち上げました。

Lエールはloveの頭文字。

互いを必要とするものたちが、信頼して呼びあうlove-callです。

みんなで里子の手紙を読んだり、返事を書いたり、子ども達の国のバックグラウンドを学んだり。居ながらにして世界の理解を深めるJAFSらしい素晴らしいチャンスです。ひよっとしたら里子の家族をたずねる機会だって生まれるかも。

交流の先に、どんなワクワクドッキン！の体験が広がることでしょう。

ぜひ貴方も、この楽しい仲間づくり、love-callに参加しませんか？

■里親になりませんか？

里子は、JAFSが支援している地域の学校に通う生徒から選ばれます。里子一人の支援金額は年間20,000円。大阪市を中心に活動する「なにわエリア」の私たちは、今回、JAFSから紹介されたインドの子ども2名をグループで支援していきます。さらに個人で里子を持つことももちろん大歓迎です。



タミル語の新聞を読む子ども



みんなで遠足！

「学校に通いたい！」インドの子どもたちの今

お話し：小久保愛海さん（海外ボランティア研修生）

2014年3月から6月にかけて、インド南部タミルナード州においてボランティア活動を行った大学生の小久保さんによるお話し。海外ボランティア研修生として、女性と子どものHIV感染者支援、教育支援を主に行っている本会提携NGOのSociety for Serving Humanity(SSH)の支援活動に参加

■日 時： 2014年10月18日(土)午後2時～4時

■場 所： アジア協会アジア友の会会議室

■参加費： 300円(資料、お茶菓子代)

■主 催： アジア協会アジア友の会 なにわエリア

※ 事前にお申込みをお願いいたします。

【内容】

- インドからの里子二人の生活、家庭環境を現地レポートから紹介
- 現地に4ヶ月(3月～6月)滞在された小久保さんからのお話し

【お問合せ】 ●申込み・問合せは下記までお願いします。

JAFS

JAFS

検索

公益社団法人 アジア協会アジア友の会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5階
TEL 06-6444-0587 FAX 06-6444-0581 E-mail asia@jafs.or.jp